

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な都市づくり	事務事業コード	41111004	部・グループ	都市整備部都市政策グループ
--------------	------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	都市計画における地域地区・区域区分の見直し事務
--------	-------------------------

会計種別		開始年度	昭和 45 年度
款		終了年度	令和 - 年度
項		事業区分	ソフト事業
目		大型事業推進プラン	非登載事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる
施策	1	計画的な都市空間づくり
基本的な方向	1	コンパクトな都市空間づくり
主要な施策	1	計画的な土地利用の推進

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

目的・根拠・対象	
目的	人口や産業などの社会状況を踏まえた適正な土地利用を図ることを目的とする。
根拠	都市計画法
対象	市民

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						

事務事業の計画（概要）
 令和4年度は、市役所本庁舎の移転先予定地について用途地域の変更を行う。

事務事業の実績（概要）
 市役所本庁舎の移転先予定地の用途地域を、第1種中高層住居専用地域及び第2種中高層住居専用地域から第2種住居地域に変更した。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	登別市都市計画区域（約）	ha	11,106	11,223	11,223	11,223	11,223
②	市街化区域人口（約）	千人	47	46	45	45	45
③	行政区域人口（約）	千人	48	47	46	46	46
④	市街化区域（約）	ha	1,403	1,403	1,403	1,403	1,403
⑤	市街化調整区域（約）	ha	9,703	9,820	9,820	9,820	9,820
⑥	第一種低層住居専用地域（約）	ha	254	254	254	254	254
⑦	第二種低層住居専用地域（約）	ha	21	21	21	21	21
⑧	第一種中高層住居専用地域（約）	ha	239	239	239	236	236
⑨	第二種中高層住居専用地域（約）	ha	168	168	168	168	168
⑩	第一種住居地域（約）	ha	260	260	260	260	260
⑪	第二種住居地域（約）	ha	102	102	102	105	105
⑫	準住居地域（約）	ha	23	23	23	23	23
⑬	近隣商業地域（約）	ha	53	53	53	53	53
⑭	商業地域（約）	ha	37	37	37	37	37
⑮	準工業地域（約）	ha	162	162	162	162	162
⑯	工業地域（約）	ha	17	17	17	17	17
⑰	工業専用地域（約）	ha	67	67	67	67	67
成果指標	地域地区の見直し回数	回	0	0	0	1	0
成果指標	区域区分の見直し回数	回	0	1	0	0	0
成果指標							

課題点等
 事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更はない。

今後の取組・方向性
 社会情勢や土地利用の動向を勘案し、必要に応じて用途地域の変更を検討する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	41112001	部・グループ	都市整備部都市政策グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 都市施設等の適正配置に伴う事務

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる
施策	1	計画的な都市空間づくり
基本的な方向	1	コンパクトな都市空間づくり
主要な施策	2	都市機能の充実

目的・根拠・対象	
目的	市民が利用しやすい都市形成を図ることを目的とする。
根拠	都市計画法
対象	市民

会計種別			
款	項	目	名称
			開始年度 終了年度 事業区分 大型事業推進プラン
			— 年度 令和 — 年度 ソフト事業 非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						

事務事業の計画（概要）
令和4年度は、都市施設として位置付けられた登別市旧火葬場の廃止に向け、都市計画の見直しを行う。

事務事業の実績（概要）
都市計画変更を行い、都市施設から登別市旧火葬場を廃止した。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	登別市都市計画区域（約）	ha	11,106	11,223	11,223	11,223	11,223
②	市街化区域（約）	ha	1,403	1,403	1,403	1,403	1,403
③	市街化調整区域（約）	ha	9,703	9,820	9,820	9,820	9,820
④	都市計画道路本数	本	23	23	23	23	23
⑤	都市計画道路延長（市管内分）（約）	km	65	65	65	65	65
⑥	都市計画公園・街区公園数	箇所	32	32	32	32	32
⑦	都市計画公園・近隣公園数	箇所	3	3	3	3	3
⑧	都市計画公園・総合公園数	箇所	2	2	2	2	2
⑨	都市計画緑地数	箇所	1	1	1	1	1
⑩	都市計画特別緑地保全地区数	箇所	1	1	1	1	1
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	都市施設に係る都市計画決定（変更）の件数	件	0	1	0	1	1
成果指標							
成果指標							

課題点等
事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更はない。

今後の取組・方向性
道路交通の円滑化及び緊急時の安全確保のため、関係機関と調整を図りながら、幹線道路の計画の見直し、整備・改善を行う予定。
また、登別駅周辺地区においては、登別市観光交流センターなどの各施設の整備が進められており、歩行者交通量の増加が見込まれることから、登別観光の玄関口でもあるJR登別駅と直結する道道登別停車場線（登別温泉通）について、道路管理者である北海道とも協議のうえ、ゆとりある歩行空間を確保し、まちの賑わい創出を目的として、道路幅員の再編を含めた「車線数」に係る都市計画の見直しを行う予定。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標		事務事業コード*	41112002	部・グループ	都市整備部都市政策グループ
--------------	--	----------	----------	--------	---------------

事業・経費名	登別駅周辺地区バリアフリー基本構想策定事業
--------	-----------------------

会計種別		一般会計		
款	8 土木費	開始年度	令和4年度	
項	4 都市計画費	終了年度	令和4年度	
目	1 都市計画総務費	事業区分	ソフト事業	
			大型事業推進プラン	
			非登載事業	

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる
施策	1	計画的な都市空間づくり
基本的な方向	1	コンパクトな都市空間づくり
主要な施策	2	都市機能の充実

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
7報償費	0	0	0	330	253	0
8旅費	0	0	0	46	0	0
10需用費	0	0	0	200	195	0
11役務費	0	0	0	51	43	0
12委託料	0	0	0	8,327	8,327	0
合計	0	0	0	8,954	8,818	0

目的・根拠・対象	
目的	登別観光の玄関口として多くの観光客等が集積する登別駅周辺地区において、公共交通機関、道路等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進することを目的とする。
根拠	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）
対象	市民、来訪者

財源内訳						
財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	8,954	8,818	0

事務事業の計画（概要）

鉄道駅などの旅客施設を中心とした重点整備地区において、移動の連続性の観点から、面的なバリアフリー化を推進するため、生活関連施設とそれらとを結ぶ生活関連経路を設定するとともに、これらの現状課題等を踏まえ、バリアフリー化に向けた事業などを盛り込んだ登別駅周辺地区におけるバリアフリー基本構想を策定する。

- ・基本構想策定業務委託 一式
- ・策定協議会の開催
- ・まち歩き及び意見交換会の開催
- ・アンケート調査の実施

事務事業の実績（概要）

バリアフリー法に基づく登別駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定した。

- ・基本構想策定業務委託 一式
- ・策定協議会の実施（全3回）
- ・まち歩き及び意見交換会の実施
- ・アンケート調査の実施

指標等の状況						
活動等の状況	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
① 登別駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会	回	-	-	-	3	-
② まち歩き・意見交換会	回	-	-	-	1	-
③ 市民アンケート	回	-	-	-	1	-
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						
⑯						
⑰						
成果指標	特定事業計画策定数	事業	-	-	-	4
成果指標						
成果指標						

課題点等

段階的なバリアフリー化の推進に努めるため、基本構想に位置づけている特定事業が完了した後も、社会情勢や市民ニーズの変化等に応じて適切な見直しを行っていく必要がある。

今後の取組・方向性

基本構想の策定後は、各施設管理者において特定事業計画を定め、それに基づき事業が実施されることになるが、事業の検証や継続的な改善・向上に取り組む。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
	終了	終了	終了	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	16 平和と公正	事務事業コード	41211001	部・グループ	都市整備部都市政策グループ
--------------	-------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	景観みどり推進経費
--------	-----------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる
施策	2	良好な景観の形成
基本的な方向	1	地域性を活かした景観形成
主要な施策	1	景観形成の推進

目的	目的・根拠・対象	良好な景観と豊かなみどりを守り、育て、つくり、これらを次の世代へ継承していくことを目的とする。
	根拠	登別市景観とみどりの条例及び同条例施行規則
対象	対象	市民、事業者

会計種別		一般会計			
款	8	土木費	開始年度	平成 28 年度	
項	4	都市計画費	終了年度	令和 一 年度	
目	1	都市計画総務費	事業区分	ソフト事業	
				非登載事業	

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
1報酬	149	0	149	149	44	165
8旅費	15	0	15	15	4	15
10需用費	30	30	29	29	29	41
15原材料費	30	30	30	30	30	30
合計	224	60	223	223	107	251

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	224	60	223	223	107	251

事務事業の計画（概要）	
登別市景観とみどりの条例に基づき、市民等との協働による良好な景観と豊かなみどりづくりの推進に向けた取組を行う。	
・景観・みどり審議会の運営	
・景観・みどり推進会議の運営	
・条例に基づく各指定	
・登別景観・みどり遺産、眺望ポイント、保護樹	
・条例に基づく景観・みどりモデル地区の認定	
・景観・みどりづくり賞の表彰	
・景観フォトパネル展の実施	

事務事業の実績（概要）	
○登別市景観とみどりの条例に基づき、良好な景観と豊かなみどりづくりの推進に向けた取組を行った。	
・景観・みどり審議会	1回
・景観・みどり推進会議（庁内会議）	2回
・景観・みどり推進会議（実践活動）	11回
○景観・みどり推進会議については、実践活動として委員が所属する団体（特にキウシト湿原・ふおれすと鉱山）の活動への応援を行った。	
○市民等の景観・みどりづくりへの関心を高めるための活動を行った。	
・景観・みどりづくり賞の受賞対象者の募集を行った。	
○本市内の魅力ある景観をテーマとした景観フォトパネル展（応募総数38点）を市内4箇所で開催した。	

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	景観・みどり審議会の開催	回	0	0	0	1	3
②	景観・みどり推進会議の開催	回	3	1	1	2	2
③	景観・みどりに関する講演会の開催	回	0	0	0	0	0
④	登別景観・みどり遺産の指定	件	0	0	0	0	1
⑤	景観・みどりモデル地区の認定	件	0	0	0	0	0
⑥	眺望ポイントの指定	件	0	0	0	0	0
⑦	保護樹の指定	件	0	0	0	0	0
⑧	登別市景観・みどりづくり賞表彰件数	件	0	0	0	0	1
⑨	登別市景観・みどり推進会議による実践活動	回	10	0	8	11	9
⑩	条例に基づく各種指定等案件の提案	件	0	0	0	0	1
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	条例に基づく各種の指定等数	件	0	0	0	0	1
成果指標	市内全域の景観に対する満足度	%	75.1	-	-	69.9	-
成果指標							

課題点等	
・市と推進会議が協働して景観・みどりに関する活動を行うこととしているが、実際は市主導のまま進んでいる状況であり、実践活動についても推進会議委員の参加数が少ない状況である。	
・市内の良好な景観と豊かなみどりを保全するため、さらなる意識啓発や各種指定等を行うことが必要である。	

今後の取組・方向性	
・推進会議が自発的に活動していく、そして実践活動への推進会議委員のさらなる参加を促すようなシステムづくりのため、協議・調整を進めていく。	
・条例に基づく各種指定案件等については、推進会議からの提案という手法も含めて、指定等へ向けた作業を進める。	
・景観・みどりづくりに関し優れた活動を行っている者等を称えるとともに、市民の景観・みどりづくりへの関心が高まるよう「景観・みどりづくり賞」の受賞対象者の募集を行う。	
・意識啓発に向け市公式ウェブサイトによる継続した情報発信を行う。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	16 平和と公正な社会	事務事業コード	41212001	部・グループ	都市整備部都市政策グループ
--------------	----------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	景観とみどりに関する意識啓発
--------	----------------

会計種別		開始年度	平成 28 年度
款		終了年度	令和 ー 年度
項		事業区分	ソフト事業
目		大型事業推進プラン	非登載事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる
施策	2	良好な景観の形成
基本的な方向	1	地域性を活かした景観形成
主要な施策	2	景観意識の啓発

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

目的	<p>目的・根拠・対象</p> <p>市民等へ景観とみどりに関する意識啓発を図ることで、良好な景観と豊かなみどりづくりを推進することを目的とする。</p>
根拠	登別市景観とみどりの条例、同条例施行規則
対象	市民、事業者

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						

事務事業の計画（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・市の景観・みどりづくりに関する事業の推進による意識啓発。 ・市公式フェイスブックなどを通じて景観・みどり推進会議が応援する活動を周知・報告することによる意識啓発。 ・魅力ある登別の景観を認識してもらうため、景観フォトパネル展を実施。
-------------	---

事務事業の実績（概要）	<p>市民等の景観・みどりづくりに関する取り組みについて、市広報紙、市公式ウェブサイト、市公式フェイスブックにおいて情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○景観フォトパネル展を実施し、応募のあった38作品を市内4施設で展示した。 ○沿道美化事業（2回）、アイラブロード事業の実施 ○景観・みどり推進会議による応援活動（キウシト湿原・ふおれすと鉱山など）に関する情報発信 ○キウシト湿原観賞会・観察会の情報発信
-------------	--

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	景観・みどりづくりに係る事業の実施	回	4	2	3	3	4
②	景観・みどりづくりに関する講演会	回	0	0	0	0	0
③	みどりの講習会の開催	回	1	0	0	1	2
④	景観・みどりづくりに関する情報の発信（市広報紙掲載）	件	10	2	1	10	5
⑤	景観・みどりづくりに関する情報の発信（市公式ウェブサイト更新回数）	回	18	2	6	15	12
⑥	景観・みどりづくりに関する情報の発信（市公式フェイスブック掲載）	件	12	1	1	2	2
⑦	景観・みどり推進会議による実践活動	回	10	0	8	11	9
⑧	景観フォトパネル展の実施箇所	箇所	0	0	0	4	4
⑨	景観フォトパネル展への応募総数	件	0	0	0	38	40
⑩	市公式フェイスブック「いいね！」の件数（年間）	件	184	11	35	20	50
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	景観形成に関する情報発信の回数	回	40	5	8	27	19
成果指標							
成果指標							

課題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等への意識啓発にあたり、次の事項が課題となった。 ・市広報紙や市公式ウェブサイトと併せて市公式フェイスブックにより、広く市民等へ情報発信を行っているが、広範な意識啓発には至っていない。 ・景観フォトパネル展の応募数の確保。 ・市のみではなく、各団体がやっている活動の情報発信も必要。
------	---

今後の取組・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙、市公式ウェブサイト、市公式フェイスブックからの情報発信を継続しつつ、さらなる新たな情報発信の手法を検討する。 ・推進会議委員が所属する団体の景観とみどりに関する活動の情報発信を行う。 ・誰もが分かりやすく享受して貰えるであろう景観フォトパネル展に係る写真については、魅力的な撮影テーマの設定や応募期間を長めに取るなど、その総数を増加させる。 ・沿道美化事業などを継続して実施する。
-----------	---

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な都市	事務事業コード	42111001	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	---------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 都市公園施設長寿命化事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全
主要な施策	1	安全で安心できる公園整備の推進

目的	目的・根拠・対象	都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、公園施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全安心を確保し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。
	根拠	都市公園法
対象	公園施設（都市公園法第2条）	

会計種別		一般会計	
款	8	土木費	開始年度 平成 23 年度
項	4	都市計画費	終了年度 令和 一 年度
目	2	公園管理費	事業区分 ハード事業
			大型事業推進プラン 登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	649	649	1,280	1,280	1,280	691
3職員手当等	186	186	0	0	0	0
8旅費	68	6	68	68	23	68
10需用費	2,074	2,073	2,103	2,103	2,103	2,129
12委託料	1,500	770	1,500	1,091	600	6,000
13使用料及び賃借料	23	22	23	23	22	23
14工事請負費	34,500	33,484	42,000	42,409	42,408	39,900
18負担金・補助及び交付金	275	258	275	275	257	275
合計	39,275	37,448	47,249	47,249	46,693	49,086

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	15,000	15,000	18,750	18,750	18,750	15,250
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	19,800	17,900	22,900	22,900	22,600	26,900
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,475	4,548	5,599	5,599	5,343	6,936

事務事業の計画（概要）

都市公園を対象に、公園施設の改築及び修繕を行う。

【事業計画】

- 公園施設改築 2箇所
 - 富岸公園遊戯施設改築工事 一式
 - 旭公園あずまや改築工事 一式
- 公園施設修繕 一式

事務事業の実績（概要）

都市公園を対象に、公園施設の改築及び修繕を行った。

【事業実績】

- 公園施設改築 2箇所
 - 富岸公園遊戯施設改築工事 一式
 - 旭公園あずまや改築工事 一式
- 公園施設修繕 一式

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	登録市内の都市公園数	箇所	44	44	44	44	44
②	都市公園の遊具数	箇所	178	178	177	177	177
③	都市公園の健全遊具数	箇所	142	143	144	145	146
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	施設改築実施公園数	箇所	3	2	2	2	4
成果指標	長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度	%	79.8	80.3	81.4	81.9	82.5
成果指標							

課題点等

公園施設の改築については国の社会資本整備総合交付金を活用して行っているが、要望どおり交付されない場合もあり、また、公園施設の老朽化が進んでいることや資材費の高騰により長寿命化計画に遅れが生じている。

今後の取組・方向性

今後も公園施設の適切な維持管理及び改築等を進め公園利用者の安全安心を確保する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42112001	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 登別市街区公園等清掃交付金事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全
主要な施策	2	民間活力による公園・緑地の管理・運営

目的	目的・根拠・対象
	街区公園等の維持管理を町内会の協力を得ながら行うことにより、生活に身近なこれらの公園等の景観を保持するなど、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。
根拠	登別市街区公園等清掃交付金取扱要領
対象	町内会（登別市街区公園等清掃交付金取扱要領）

会計種別		一般会計			
款	8	土木費	開始年度	平成 6 年度	
項	4	都市計画費	終了年度	令和 一 年度	
目	2	公園管理費	事業区分	ソフト事業	
				大型事業推進プラン	非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
18負担金・補助及び交付金	540	540	540	540	500	580
合計	540	540	540	540	500	580

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	500	500	400	400	500	400
一般財源	40	40	140	140	0	180

事務事業の計画（概要）

地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付する。

【事業計画】

- ・実施町内会 36町内会
- ・実施公園数 45箇所

事務事業の実績（概要）

地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付した。

【事業実績】

- ・実施町内会 35町内会
- ・実施公園数 42箇所

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	清掃交付金事業実施公園広場数	箇所	48	46	45	42	45
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	交付対象町内会数	町内会	38	37	36	35	36
成果指標							
成果指標							

課題点等

高齢化により参加町内会が減少傾向にある。

今後の取組・方向性

今後についても引き続き町内会と協議し、本事業を進めていく。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42112002	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 公園維持管理経費

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全
主要な施策	2	民間活力による公園・緑地の管理・運営

目的	目的・根拠・対象
	市内135箇所の公園・広場や街路樹の適切な維持管理を行うことにより、生活に身近な公園・広場等を保全し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。
根拠	
対象	公園・広場

会計種別		一般会計	
款	8 土木費	開始年度	— 年度
項	4 都市計画費	終了年度	令和 — 年度
目	2 公園管理費	事業区分	ソフト事業
			非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
8旅費	30	7	30	14	0	30
10需用費	8,889	8,324	8,663	9,014	8,542	9,389
11役員費	1,118	947	956	956	931	990
12委託料	68,225	68,312	69,341	69,341	69,164	71,264
13使用料及び賃借料	7,844	7,796	7,855	7,855	7,826	7,830
14工事請負費	4,213	4,081	1,500	1,500	1,447	5,179
15原材料費	2,300	2,299	2,300	2,300	2,299	2,300
17備品購入費	1,043	1,042	1,043	1,043	1,042	0
18負担金・補助及び交付金	25	25	25	25	25	25
26公課費	75	75	75	75	75	75
合計	93,762	92,908	91,788	92,123	91,351	97,082

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	9,331	8,860	16,850	16,850	17,964	17,850
一般財源	84,431	84,048	74,938	75,273	73,387	79,232

事務事業の計画（概要）
公園・広場の遊具等の修繕や、街路樹の剪定など維持管理を行う。

事務事業の実績（概要）
市内各公園・広場の遊具等施設の修繕など維持管理を行うとともに、市内の各市道に植栽されている街路樹の剪定など維持管理を行った。

指標等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
活動等の状況							
①	街路樹剪定本数	本	618	512	638	467	644
②	公園・広場施設修繕件数	件	15	24	19	21	21
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	都市公園数	ヶ所	44	44	44	44	44
成果指標	その他公園・広場数	ヶ所	91	91	91	91	91
成果指標	市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積	m ²	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4

課題点等
事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更はない。

今後の取組・方向性
公園・広場や街路樹の適切な維持管理を行うことにより、生活に身近な公園・広場等を保全し、快適な住環境づくりを推進する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	16 平和と公正	事務事業コード	42113001	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	-------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	緑化推進経費
--------	--------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全
主要な施策	3	みどりの創出と保全

目的	目的・根拠・対象	市民参加による各種事業を行うことにより、みどり豊かなまちづくりを推進することを目的とする。
	根拠	
対象	市民	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 4 年度
項	4	都市計画費	終了年度	令和 一 年度
目	3	緑化推進費	事業区分	ソフト事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
7報償費	30	0	30	30	0	30
10需用費	3,188	3,187	3,288	3,288	3,288	3,733
15原材料費	473	457	473	473	467	473
18負担金・補助及び交付金	0	0	50	50	50	0
合計	3,691	3,644	3,841	3,841	3,805	4,236

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	3,400	3,400	3,000	3,000	3,500	3,500
一般財源	291	244	841	841	305	736

事務事業の計画（概要）

緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行う。

【主な事業】

- 市民緑化推進事業
 - 公共施設に植栽する樹木や花苗を町内会へ配布する。
- 沿道美化事業（春・夏）
 - 沿道弁景観別線などの沿道へ花苗を植栽する。
- みどりの講習会
 - みどりに関する情報の発信を推進するため、各種講習会を開催する。
- 第39回全国都市緑化北海道フェア開催に伴い、「らいば公園」を協賛会場とし、花壇の植栽等を実施する。

事務事業の実績（概要）

緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行った。

【事業実績】

- 市民緑化推進事業
 - 公共施設に植栽する樹木や花苗について、町内会への配布を行った。
- 沿道美化事業（春・夏）
 - 沿道弁景観別線などの沿道へ花苗の植栽を行った。
- みどりの講習会
 - みどりに関する情報の発信を推進するため、講習会を行った。
- 第39回全国都市緑化北海道フェア開催に伴い、「らいば公園」を協賛会場とし、花壇の植栽等を実施した。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	市民緑化推進事業花苗植栽数	株	8,880	4,970	5,978	6,330	5,900
②	沿道美化事業（春）参加団体数	団体	13	0	12	9	11
③	沿道美化事業（春）花苗植栽数	株	5,200	4,480	4,480	3,160	3,800
④	沿道美化事業（夏）団体数	団体	11	11	11	11	11
⑤	沿道美化事業（夏）花苗植栽数	株	5,120	5,120	5,080	4,200	3,800
⑥	アイラロード参加団体数	団体	20	19	19	18	18
⑦	アイラロード花苗植栽数	株	4,480	4,000	4,000	3,880	3,880
⑧	小学校入学記念植樹実施学校数	校	2	1	0	0	1
⑨	みどりの講習会実施回数	回	1	0	0	1	2
⑩	フラワーマスター資格保持者数	人	18	18	17	17	17
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数（市民緑化推進事業参加町内会数）	町内会	55	47	49	47	49
成果指標							
成果指標							

課題点等

市民緑化推進事業参加町内会数が減少している。

今後の取組・方向性

みどり豊かなまちづくりを推進するため、今後も緑化推進事業を継続して市民や関係団体と協働で取り組んでいく。
また、引き続き市民緑化推進事業の周知や個別動奨を行うことで、参加町内会の増加を図る。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	16 平和と公正な社会	事務事業コード	42113002	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	----------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 **みどりの基本計画更新事業費**

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全
主要な施策	3	みどりの創出と保全

目的・根拠・対象	
目的	平成15年3月に策定した「登別市みどりの基本計画」について、都市環境や社会経済情勢の変化を踏まえ、新たな課題に対応した将来像の方向性を示すため、「みどりの基本計画」の見直しを行い、市民、企業、行政が一体となってみどり豊かなまちづくりの指針とすることを目的とする。
根拠	
対象	市民

会計種別		一般会計			
款	8	土木費	開始年度	令和3年度	
項	4	都市計画費	終了年度	令和4年度	
目	3	緑化推進費	事業区分	ソフト事業	
				非登載事業	

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	2,000	1,672	1,000	1,000	924	0
合計	2,000	1,672	1,000	1,000	924	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	1,800	1,672	700	700	900	0
一般財源	200	0	300	300	24	0

事務事業の計画（概要）

平成15年3月に策定した「登別市みどりの基本計画」は、公園や道路・公共施設等のみどりの配置などについて方向性を示し、みどり豊かなまちづくりなどをすすめる際の指針となる計画であり、令和4年度を策定の目標年度としている。

大きく変化する社会経済情勢に対応しつつ、今後とも計画的なみどりの保全と創出等をすすめるため、市民とともにみどり全般についての将来あるべき姿を実現するため、「登別市みどりの基本計画」の見直しを行う。

事務事業の実績（概要）

令和4年度は、登別市みどりの基本計画の見直しに係る業務委託を行い、市民会議や庁内意見照会、関係機関との協議等を実施し、また、景観・みどり審議会への諮問・答申及びパブリックコメントを経て計画を策定し、令和5年3月31日に計画の公表を行った。

活動等の状況		指標等の状況					
①	市民会議	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
②		回	-	-	2	3	-
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	計画策定の進捗率	%	-	-	33	100.0	-
成果指標							
成果指標							

課題点等

今後とも計画的なみどりの保全と創出等をすすめるため、登別市みどりの基本計画の見直しを行うが、持続可能なみどり豊かなまちづくりの実現に向け、市民・企業・行政の役割分担など、地域住民の理解を得て決める必要がある。

今後の取組・方向性

令和5年3月31日に登別市みどりの基本計画の公表を行ったところであり、今後においては市民、企業、行政が一体となり将来像の実現に向けた具体的な取り組みを推進する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	終了	終了	終了	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	6 安全な水と衛生	事務事業コード	42121001	部・グループ	都市整備部水道グループ
--------------	--------------	---------	----------	--------	-------------

事業・経費名 送配水施設整備事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	2	安全で安心な水の安定供給
主要な施策	1	安全な水道水の供給

目的・根拠・対象	
目的	水道施設の健全性を維持するため、中長期的な視点で施設全体の予防保全的な調査や補修、更新等の整備を行い、「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」さらに「安定した水道事業の運営の持続」を図ることを目的とする。
根拠	水道法
対象	送水管、配水管、浄水場

会計種別 水道事業会計・資本的収入及び支出					
款	1	資本的支出	開始年度	令和	—
項	1	建設改良費	終了年度	—	年度
目	1	送配水施設整備事業費	事業区分	ハード事業	
			大型事業推進プラン	非登載事業	

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
※事業費合計	1,439,153	724,658	2,031,266	2,031,266	1,007,622	1,835,694
合計	1,439,153	724,658	2,031,266	2,031,266	1,007,622	1,835,694

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	176,924	110,739	343,031	343,031	186,875	248,830
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	1,129,900	508,800	1,653,700	1,653,700	787,700	1,512,600
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	132,329	105,119	34,535	34,535	33,047	74,264

事務事業の計画（概要）	
・配水管改良事業	L=1,270m
・配水池耐震補強工事	一式
・温泉浄水場更新関係工事	一式

事務事業の実績（概要）	
・配水管改良事業	L=1,279.6m
・若草第1配水池耐震補強工事	流入弁室改修2カ所、換気塔2基補修
・登別温泉浄水場更新	<ul style="list-style-type: none"> ○水処理プラント建設（施工期間令和2年～令和5年）一式 ○浄水場下部工事（施工期間令和3年～令和4年）一式 ○浄水場上部工事（施工期間令和3年～令和5年）一式 ○浄水場建築機械・電気工事（施工期間令和3年～令和5年）一式 ○浄水場配管工事（施工期間令和3年～令和5年）一式

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	水道管路延長（全体）	km	290.0	290.5	291.0	291.0	291.0
②	現在給水人口	人	46,555	45,779	45,047	44,219	43,470
③	年間総配水量	m ³	4,461,364	4,474,646	4,410,503	4,381,011	4,353,000
④	年間総有収水量	m ³	3,793,626	3,770,424	3,709,673	3,618,418	3,613,000
⑤	有効率	%	85.0	85.0	84.9	83.8	84.2
⑥	有収率	%	85.8	84.3	84.1	82.6	83.0
⑦	職員1人当たり給水人口	人	4,232	4,162	4,095	4,020	3,952
⑧	職員1人当たり給水量	m ³	344,875	342,766	337,243	328,947	328,454
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	上水道石綿セメント管の更新（令和7年度目標：0m）	m	505	365	365	298	284
成果指標							
成果指標							

課題点等	
水道施設において、今後10年間に耐用年数を迎える施設が多くあり、更新需要の増加が見込まれる。	

今後の取組・方向性	
登別市水道事業ビジョンに掲げた主要施策の実施計画と整合性を図りながら、登別市水道施設整備計画及び登別市水道事業経営戦略に基づき、計画的かつ効率的な水道施設整備を行う。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

事務事業コード	42121001
事業・経費名	送配水施設整備事業
部・グループ	都市整備部水道グループ

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
給料	14,025	13,669	14,048	14,048	13,377	18,208
手当	11,321	7,310	10,498	10,498	7,467	12,322
賞与引当金繰入額	1,897	1,873	1,910	1,910	1,855	2,490
法定福利費	5,598	4,303	5,003	5,003	4,124	6,125
法定福利費引当金繰入額	414	395	403	403	387	511
旅費	418	93	1,248	1,248	303	1,248
備消耗品費	815	553	700	700	685	574
燃料費	211	80	259	259	63	259
印刷製本費	48	0	48	48	0	48
委託料	120,753	73,206	47,243	47,243	25,234	91,989
手数料	800	200	59	59	57	626
賃借料	138	93	288	288	163	288
修繕費	1,136	1,021	1,143	1,143	1,132	4,145
材料費	2	0	2	2	0	2
補償費	86	0	143	143	0	70
負担金	303	258	303	303	257	303
保険料	45	25	45	45	19	45
工事請負費	1,277,000	617,452	1,945,000	1,945,000	949,604	1,686,350
雑費	4,120	4,104	2,900	2,900	2,872	10,068
公課費	23	23	23	23	23	23
合計	1,439,153	724,658	2,031,266	2,031,266	1,007,622	1,835,694

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	6 安全な水と衛生	事務事業コード	42122001	部・グループ	都市整備部簡易水道グループ
--------------	--------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 簡易水道施設送配水施設整備事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
基本的な方向	2	安全で安心な水の安定供給
主要な施策	2	確実な給水の確保

目的・根拠・対象	
目的	簡易水道施設の健全性を維持するため、中長期的な視点で施設全体の更新等の整備を行い、「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」さらに「安定した簡易水道事業の運営の持続」を図ることを目的とする。
根拠	水道法
対象	配水管、札内浄水場、水道メーター

会計種別		簡易水道事業会計		
款	1	資本的支出	開始年度	—年度
項	1	建設改良費	終了年度	令和—年度
目	2	送配水施設整備事業費	事業区分	ハード事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
1負担金	300	0	40,050	40,050	23,730	85,680
14工事請負費	418	402	506	506	418	660
合計	718	402	40,556	40,556	24,148	86,340

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	37,600	37,600	23,000	81,800
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	718	402	2,956	2,956	1,148	4,540

事務事業の計画（概要）	
・道営営農用水事業調査計画 一式	
・水道メーター取替工事 7箇所	

事務事業の実績（概要）	
・道営営農用水事業調査設計 測量及び実施設計 L=3.9km	
・水道メーター取替工事 7箇所	

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	簡易水道管路延長（全体） ※平成28年度に資産調査を行い、数値公表。	km	40	40	40	40	40
②	簡易水道管路施設の耐用年数を経過した延長 ※平成28年度に資産調査を行い、数値公表。	km	18	18	21	21	21
③	簡易水道管路施設のうち耐用年数を経過した割合 ※平成28年度に資産調査を行い、数値公表。	%	45.0	45.0	51.6	51.6	51.6
④	簡易水道施設全体の事業計画見直し進捗状況	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤	年間総配水量	m ³	188,156	138,781	137,582	136,131	119,800
⑥	年間総有収水量	m ³	89,596	82,955	83,372	72,924	64,700
⑦	有効率	%	48.0	60.2	61.0	54.2	54.6
⑧	有収率	%	48.0	59.8	60.6	53.6	54.0
⑨	現在給水人口	人	149	147	142	138	138
⑩	簡易水道グループ正職員数（水道グループ併任）	人	13	13	13	13	13
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	配水管改良工事延長（L）	m	244	0	0	0	777
成果指標							
成果指標							

課題点等	
・全管路の総延長は、約40kmとなっており、現時点において耐用年数を超過している管路は、約20.7kmあり、全体の約52%を占めている。	
また、今後10年間で耐用年数を迎える管路が1.3kmあり、全体の約55%を占めることとなる。さらに、供給した配水量の効率性を示す有効率がかなり低く、老朽管の漏水に起因することが多いと考えられるため、管路の更新を進める必要がある。	
・管路の更新を行うにあたり用地処理に時間を要する。	

今後の取組・方向性	
平成31年1月に策定した「登別市簡易水道事業経営戦略」に基づき、国の補助制度を活用し、北海道が主体となった整備により、計画的かつ効率的な簡易水道施設の改築・更新や維持管理・運営を行う。	
・令和3年度に水利施設等保全高度化事業の計画策定を実施し、令和4年度から令和12年度までの事業期間において約15kmの老朽管改良を予定している。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な都市づくり	事務事業コード	42211001	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 26 年度
項	5	住宅費	終了年度	令和 一 年度
目	2	建築指導費	事業区分	ソフト事業
				大型事業推進プラン 非登載事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進
主要な施策	1	民間住宅の改善誘導

目的・根拠・対象	
目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震診断結果の報告が義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成することにより、要緊急安全確認大規模建築物の耐震化を促進する。
根拠	建築物の耐震改修の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市民間大規模建築物耐震改修事業補助金要綱、登別市民間大規模建築物耐震診断補助金交付要綱、登別市民間大規模建築物補強設計補助金交付要綱
対象	要緊急安全確認大規模建築物の所有者

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
18負担金・補助及び交付金	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0

事務事業の計画（概要）
 建築物の耐震改修の促進に関する法律により、耐震診断の実施等が義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物の耐震化を促進するため、耐震診断により耐震性を満たさないと判断された建築物について、補強設計等を行う所有者に対し、その費用の一部を補助する。
 ・対象建築物
 ホテル・旅館で階数3階以上かつ5,000㎡以上の建築物（市内で6棟が該当）
 ・助成額
 補強設計に要する費用の23%
 耐震改修に要する費用の23%（防災拠点施設の場合2/3）

事務事業の実績（概要）
 要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を補助した。
 【対象建築物数】 6棟
 【令和4年度耐震改修実施棟数】 実施なし
 【過年度耐震改修完了棟数】 5棟
 ・平成28年度完了 1棟
 ・平成30年度完了 1棟
 ・令和元年度完了 2棟
 ・令和2年度完了 1棟

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	説明会	回	0	0	0	0	0
②	耐震化計画意向調査	件	0	0	0	0	0
③	次年度意向調査	件	2	1	1	1	1
④	交付申請手続き事前説明	件	0	0	0	0	0
⑤	交付申請	件	1	0	0	0	0
⑥	交付決定	件	5	0	0	0	0
⑦	中間検査	回	3	1	0	0	0
⑧	実績報告	回	1	1	0	0	0
⑨	完了検査	回	2	1	0	0	0
⑩	額の確定	回	4	1	0	0	0
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	耐震診断 実績	棟	0	0	0	0	0
成果指標	補強設計 実績	棟	2	0	0	0	0
成果指標	耐震改修 実績	棟	2	1	0	0	0

課題点等
 当該補助制度は、「国の交付金」及び「北海道の補助金」の活用が不可欠であることから、所要額の確保が必要である。

今後の取組・方向性
 対象建築物すべての耐震化を促進するため、今後においても残る1棟の耐震改修事業実施に向けて、交付金等を活用し事業を継続する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42211002	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	民間特定既存耐震不適格建築物耐震化促進事業
--------	-----------------------

会計種別		一般会計			
款	8 土木費	開始年度	平成 26 年度	終了年度	令和 一 年度
項	5 住宅費	事業区分	ソフト事業		
目	2 建築指導費	大型事業推進プラン	非登載事業		

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進
主要な施策	1	民間住宅の改善誘導

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
18負担金・補助及び交付金	2,000	0	2,000	0	0	2,000
合計	2,000	0	2,000	0	0	2,000

目的	<p>目的・根拠・対象</p> <p>建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震化の努力義務が課せられている民間の特定既存耐震不適格建築物の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成することにより、特定既存耐震不適格建築物の耐震化を促進する。</p>
根拠	建築物の耐震改修の促進に関する法律、登別市既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱
対象	民間の特定既存耐震不適格建築物の所有者

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	1,000	0	1,000	0	0	1,000
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,000	0	1,000	0	0	1,000

事務事業の計画（概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・特定既存耐震不適格建築物の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を補助する。補助額 耐震診断に要する費用の2/3（限度額200万円） ・事業について市公式ウェブサイト及び広報のほりべつに掲載し、周知を行う。 ・広報のほりべつについては、8月末までに年2回掲載とする。

事務事業の実績（概要）
市公式ウェブサイト、広報のほりべつで周知を行ったが、令和4年度は申請がなかったため実績なし。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	耐震診断についての補助金交付	棟	0	0	0	0	1
②	市広報紙での周知回数	回	2	2	2	2	2
③	市公式ウェブサイトでの周知回数	回	1	1	1	1	1
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	耐震診断実施棟数	棟	0	0	0	0	1
成果指標							
成果指標							

課題点等
平成27年度に本事業を活用し耐震診断を実施している建築物も含め、耐震診断の結果、耐震性を満たさないと判定された場合に、耐震改修に対する市の支援策が今後課題となる。

今後の取組・方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。 ・耐震診断の結果、耐震性を満たさない当該建築物に対する耐震化への支援策について、今後検討する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住まいるまちづくり	事務事業コード	42211003	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	-----------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	木造住宅耐震化促進事業
--------	-------------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進
主要な施策	1	民間住宅の改善誘導

目的・根拠・対象	
目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震化の努力義務が課せられている民間の木造住宅の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成することにより、木造住宅の耐震化を促進する。
根拠	建築物の耐震改修の促進に関する法律、登別市既存木造住宅耐震診断補助金交付要綱
対象	民間の木造住宅の所有者

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 26 年度
項	5	住宅費	終了年度	令和 一 年度
目	2	建築指導費	事業区分	ソフト事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
18負担金・補助及び交付金	100	0	100	0	0	100
合計	100	0	100	0	0	100

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	24	0	24	0	0	24
道支出金	50	0	50	0	0	50
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	26	0	26	0	0	26

事務事業の計画（概要）
耐震化が努力義務となっている木造住宅について、耐震診断を行う所有者に対し、その費用の一部を補助する。 ・木造住宅の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を補助する。 ・補助額 耐震診断に要する費用の2/3（限度額5万円） ・事業について市公式ウェブサイト及び広報のほりべつに掲載し、周知を行う。 ・広報のほりべつについては、8月末までに年2回掲載とする。

事務事業の実績（概要）
令和4年度は申請がなかったため実績なし。

指標等の状況		活動等の状況					
		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	耐震診断についての補助金交付	棟	0	0	0	0	2
②	市広報紙での周知回数	回	2	2	2	2	2
③	市公式ウェブサイトでの周知回数	回	1	1	1	1	1
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	耐震診断実施棟数	棟	0	0	0	0	2
成果指標							
成果指標							

課題点等
現時点で本事業の活用実績はないが、今後本事業を活用し耐震診断を実施した結果、耐震性を満たさないと判断された住宅に対する耐震化への支援策が課題となる。

今後の取組・方向性
・当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。 ・耐震診断の結果、耐震性を満たさない当該住宅に対する耐震化への支援策について、今後検討する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42221001	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 **良好な宅地供給のための適正な指導事務**

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	2	優良な宅地の供給促進
主要な施策	1	安全で優良な宅地供給の誘導

目的・根拠・対象	
目的	都市計画法に基づく開発行為の許可等において、法による技術上の安全基準等を遵守するとともに、北海道及び公共施設管理者と連携し、宅地分譲等事業者に対する適正な指導を行うことにより、良好な宅地の供給を図る。
根拠	都市計画法
対象	事業者

会計種別		開始年度	終了年度	事業区分	大型事業推進プラン
款				ソフト事業	非登録事業
項					
目					

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						

事務事業の計画（概要）

- ・開発行為事前協議において、道路、給排水施設等を備え、かつ、敷地の安全上必要な措置が講じられている等、都市計画法による技術基準や北海道の「開発許可制度の手引き」の内容について、十分協議を行う。
- ・必要に応じて、公共施設管理者等と協議、北海道からの助言など関係機関との連携により、事業者に対する良好な宅地供給のための適正な指導を行う。

事務事業の実績（概要）

令和4年度は、宅地分譲の許可申請が1件あり、審査の上、許可通知書を交付した。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	宅地分譲の相談があった際の部内会議（延べ回数）	回	2	0	1	0	1
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
成果指標	宅地分譲に関する開発行為許可申請	件	2	0	0	1	1
成果指標							
成果指標							

課題点等

都市計画法や北海道の「開発許可制度の手引き」の改正などに注視し、適正な指導を行う。

今後の取組・方向性

良好な宅地供給を図るため今後も事業を継続する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な都市づくり	事務事業コード	42221002	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 大規模盛土造成地変動予測調査

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	2	優良な宅地の供給促進
主要な施策	1	安全で優良な宅地供給の誘導

目的・根拠・対象	
目的	大地震等が発生した場合に、大きな被害が生ずるおそれのある大規模盛土造成地において、安全性を確認し、市民が安全安心に暮らせるまちづくりを進めることを目的とする。
根拠	宅地造成等規制法、大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説
対象	盛土の面積が3,000㎡以上（谷埋め型）及び盛土する前の地盤面の水平面に対する角度20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上（腹付け型）

会計種別		一般会計			
款	8	土木費	開始年度	令和2年度	
項	5	住宅費	終了年度	令和1年度	
目	2	建築指導費	事業区分	ソフト事業	
				非登載事業	

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	0	0	14,700	14,700	11,121	0
合計	0	0	14,700	14,700	11,121	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	7,350	7,350	5,550	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	7,350	7,350	5,571	0

事務事業の計画（概要）
令和2年度実施の優先度評価より抽出した大規模盛土造成地1箇所について、国のガイドライン等による第二次スクリーニング調査を行う。

事務事業の実績（概要）
大規模盛土造成地1箇所について、国のガイドライン等による第二次スクリーニング調査を行った。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	基礎資料整理	箇所	—	12	0	—	—
②	現地踏査	箇所	—	12	0	—	—
③	計画作成	冊	—	1	0	—	—
④	調査盛土箇所	箇所	—	—	—	1	—
⑤	ボーリング箇所	本	—	—	—	2	—
⑥	安定計算	式	—	—	—	1	—
⑦	有識者協議	回	—	—	—	1	—
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	報告書作成	冊	—	1	0	1	—
成果指標							
成果指標							

課題点等
第二次スクリーニング調査の結果、経過観察が必要であり、その実施方法について検討が必要である。

今後の取組・方向性
当該大規模盛土造成地について関係部署と協議の上、経過観察を行う。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	終了	終了	終了	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42231004	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 市営住宅非常用照明改修事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	1	計画的な改修整備

目的	目的・根拠・対象 非常用照明の機能を確保することにより、入居者が火災などの非常時に安全に屋外へ避難できることを目的とする。
	根拠 公営住宅法、登別市営住宅条例、建築基準法
対象	市営住宅

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 22 年度
項	5	住宅費	終了年度	令和 一 年度
目	1	住宅管理費	事業区分	ハード事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
14工事請負費	5,300	4,884	5,300	4,840	4,840	2,900
合計	5,300	4,884	5,300	4,840	4,840	2,900

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,300	4,884	5,300	4,840	4,840	2,900

事務事業の計画（概要）
 設置から一定期間を経過した非常用照明の改修工事を行う。
 ・対象団地及び住棟名 桜木団地8号棟

事務事業の実績（概要）
 桜木団地8号棟の非常用照明77台の改修工事を実施した。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	非常用照明を設置している市営住宅住戸数	戸	1,264	1,264	1,288	1,276	1,276
②	非常用照明を改修したことにより安全性が向上した市営住宅住戸数	戸	0	40	45	45	76
③	建築基準法に基づく定期調査（検査）による指摘件数	件	0	0	0	0	0
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	改修及び改善した非常用照明器具数	台	0	72	77	77	38
成果指標							
成果指標							

課題点等
 事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更はない。

今後の取組・方向性
 ・設置から一定期間を経過した非常用照明の改修を順次実施する。
 ・事業費の平準化に努め、継続して改修を行う。
 【令和5年度実施予定】
 ・柏葉団地（1、2、3、5号棟） 38台

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42231006	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 市営住宅屋根外壁改修事業費

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	1	計画的な改修整備

目的	目的・根拠・対象	老朽化した既存市営住宅の改修を行うことにより、入居者が快適で安心して生活できる市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。
	根拠	公営住宅法、登別市営住宅条例
対象	対象	市営住宅（幌別東団地）

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 27 年度
項	5	住宅費	終了年度	令和 一 年度
目	3	住宅建設費	事業区分	ハード事業
				大型事業推進プラン 登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
14工事請負費	12,000	11,990	0	0	0	14,245
合計	12,000	11,990	0	0	0	14,245

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	9,000	8,900	0	0	0	10,600
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,000	3,090	0	0	0	3,645

事務事業の計画（概要）
老朽化した市営住宅の屋根や外壁の改修工事を行う。

事務事業の実績（概要）
令和4年度 実績なし

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	建設から30年以上が経過している幌別東団地住戸数	戸	368	360	360	360	360
②	建設から30年以上が経過している幌別東団地住棟数	棟	17	15	15	15	15
③	本事業より市営住宅の機能の維持が図られた幌別東団地住戸数	戸	0	0	24	0	24
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	改修を実施した棟数	棟	0	0	1	0	1
成果指標							
成果指標							

課題点等
<ul style="list-style-type: none"> 外壁の劣化状況等を考慮して改修を行う住棟に優先順位を定め計画的に事業を実施する必要がある。 外壁の劣化状況によりベランダ面以外の外壁についても改修を実施する必要がある。

今後の取組・方向性
<ul style="list-style-type: none"> 外壁の劣化が著しい幌別東団地について、外部改修を継続する。 改修を行う住棟については、劣化状況等を考慮して優先順位を定め計画的に事業を実施する。 外壁の劣化状況によりベランダ面以外の外壁についても改修を検討する。 <p>【令和5年度実施予定】 ・幌別東団地76R3号棟</p>

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42231007	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	市営住宅（千代の台団地）建替事業
--------	------------------

会計種別		一般会計		
款	8 土木費	開始年度	平成 25 年度	
項	5 住宅費	終了年度	令和 5 年度	
目	3 住宅建設費	事業区分	ハード事業	
			登載事業	

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	1	計画的な改修整備

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	4,020	4,020	0	0	0	0
4共済費	1,162	1,162	0	0	0	0
8旅費	23	0	23	23	0	0
10需用費	300	300	300	300	300	0
12委託料	12,434	12,090	5,616	5,616	3,825	300
14工事請負費	689,640	671,351	461,025	461,025	405,478	34,400
21補償・補填及び賠償金	1,584	1,539	0	0	0	0
合計	709,163	690,462	466,964	466,964	409,603	34,700

目的	<p>目的・根拠・対象</p> <p>老朽化した千代の台団地の建替えを実施することにより、入居者が安全で安心して快適に暮らせる住まいを提供することを目的とする。</p>
根拠	<p>公営住宅法、土壌汚染対策法、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市営住宅等長寿命化計画、登別市営住宅条例</p>
対象	<p>市営住宅（千代の台団地）</p>

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	228,798	334,496	31,414	31,414	25,123	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	479,100	351,900	415,600	415,600	358,200	25,800
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,265	4,066	19,950	19,950	26,280	8,900

事務事業の計画（概要）	
・千代の台団地T8からT11号棟の4棟及び集会所1棟の除却を行う。	
・子育て支援住宅として、千代の台団地2から4号棟の建設工事を行う。	
建設工事一式	
建設工事に係る監理委託一式	

事務事業の実績（概要）	
・千代の台団地T8～T11号棟（4棟16戸）及び集会所1棟の除却を実施した。	
・子育て支援住宅として、千代の台団地2～4号棟（3棟12戸）の建設工事を実施した。	

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	土壌汚染に伴う土壌汚染状況関連調査実施	%	0	0	0	0	0
②	入居者説明会（土壌汚染・仮移転・建替事業）開催回数	回	1	0	0	0	0
③	仮移転住戸修繕戸数	戸	0	0	0	0	0
④	入居者移転戸数	戸	32	0	9	0	0
⑤	建替工事に伴う除却戸数	戸	0	24	0	16	0
⑥	建設工事着手戸数	戸	0	24	0	12	0
⑦	外構工事	件	1	0	3	1	1
⑧	建替事業における整備予定戸数（累計）	戸	32	32	56	68	68
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	建替事業における新築棟数（集会所含む）	棟	0	0	2	3	0
成果指標	建設が完了した住戸数	戸	32	0	24	12	0
成果指標	バリアフリー化した公営住宅の割合	%	18.6	19.0	21.5	22.5	22.5

課題点等	
事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更はない。	

今後の取組・方向性	
【令和5年度実施予定】事業終了年度	
・外構工事を行う。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な都市づくり	事務事業コード	42231010	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 市営住宅除却事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	1	計画的な改修整備

目的	目的・根拠・対象	耐用年数を過ぎた不良住宅の解消及び目標管理戸数の推進を図るとともに、老朽化が著しい市営住宅を除却することにより、地域の防犯性、景観の向上を図ることを目的とする。
	根拠	公営住宅法、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市営住宅等長寿命化計画
対象	対象	市営住宅

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 27 年度
項	5	住宅費	終了年度	令和 一 年度
目	3	住宅建設費	事業区分	ハード事業
				大型事業推進プラン 登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	0	0	0	0	0	0
14工事請負費	0	0	0	0	0	0
21補償・補填及び賠償金	4,400	4,275	0	0	0	0
合計	4,400	4,275	0	0	0	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	1,980	2,137	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,420	2,138	0	0	0	0

事務事業の計画（概要）

市営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅の用途廃止を行う。
 【令和4年度】
 市営住宅を市営住宅（千代の台団地）建替事業により次の対象建物の除却を行う。
 対象建物：千代の台団地T8、T9、T10、T11
 ※除却工事に係る予算については、「市営住宅（千代の台団地）」建替事業に計上

事務事業の実績（概要）

【令和4年度】
 市営住宅（千代の台団地）建替事業により次の対象建物の除却を実施した。
 対象建物：千代の台団地T8、T9、T10、T11

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	耐用年数を経過した市営住宅戸数	戸	144	132	138	138	138
②	本事業における用途廃止戸数	戸	0	8	80	0	0
③	本事業における除却戸数	戸	0	8	0	16	0
④	入居者移転戸数	戸	2	0	25	0	0
⑤	移転先となる市営住宅修繕戸数	戸	2	25	0	0	0
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	本事業における除却戸数	戸	0	8	0	16	0
成果指標	市営住宅の戸数	戸	1,454	1,422	1,366	1,362	1,362

課題点等

- ・移転戸数分の空き家の確保が必要である。
- ・移転先となる市営住宅の内部修繕費用に係る予算の確保が必要である。

今後の取組・方向性

市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を経過し、老朽化が著しい市営住宅の用途廃止及び除却を行う。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	6 安全な水と衛生	事務事業コード	42231011	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 市営住宅給水設備改修事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	1	計画的な改修整備

目的	目的・根拠・対象	安定した給水を確保し入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。
	根拠	登別市営住宅等長寿命化計画、公営住宅法、登別市営住宅条例、社会資本整備総合交付金要綱、登別市給水装置工事標準計画・施工指針
	対象	市営住宅

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 29 年度
項	5	住宅費	終了年度	令和 一 年度
目	3	住宅建設費	事業区分	ハード事業
				登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
14工事請負費	8,500	8,349	7,000	7,000	6,853	8,987
合計	8,500	8,349	7,000	7,000	6,853	8,987

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	6,300	6,200	5,200	5,200	5,100	6,700
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,200	2,149	1,800	1,800	1,753	2,287

事務事業の計画（概要）
 市営住宅の老朽化した給水設備等の改修工事を行う。
 【令和4年度】
 ・対象団地名及び住棟 幌別東団地75R2
 幌別東団地75R3

事務事業の実績（概要）
 市営住宅の老朽化した給水ポンプの改修工事を実施した。
 【令和4年度】
 ・対象団地名及び住棟 幌別東団地75R2
 幌別東団地75R3

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	受水槽方式の団地棟数	団地	49	48	43	43	43
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	受水槽方式の給水設備を改修した団地棟数	棟	0	1	2	2	3
成果指標	直結給水方式に改修した団地棟数	棟	0	1	5	0	0
成果指標							

課題点等
 入居したまま改修工事ができる可能性を検討する必要がある。
 給水ポンプ故障等により断水になると生活に支障が生じることとなるため計画的に改修が必要である。

今後の取組・方向性
 市営住宅等長寿命化計画に基づき、受水槽給水方式となっている住棟を直結給水方式へ改修する。
 また、ポンプメーカーの耐用年数が15年となっているため順次給水ポンプの改修を実施する。
 【令和5年度実施予定】
 ・対象団地 千歳団地

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42231017	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 市営住宅（柏葉団地）大規模改修事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	1	計画的な改修整備

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	令和4年度
項	5	住宅費	終了年度	令和7年度
目	3	住宅建設費	事業区分	ハード事業
				登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
14工事請負費	0	0	37,000	35,893	35,893	27,000
合計	0	0	37,000	35,893	35,893	27,000

目的・根拠・対象	
目的	老朽化した既存市営住宅の改修を行うことにより、入居者が快適で安心して生活できる市営住宅の機能を図ることを目的とする。
根拠	公営住宅法、登別市営住宅条例
対象	市営住宅（柏葉団地）

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	14,985	14,501	18,000	10,935
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	22,000	21,300	17,800	16,000
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	15	92	93	65

事務事業の計画（概要）
 屋根の葺き替え、外壁の劣化補修及び塗装改修工事を行う。
 【令和4年度】
 ・対象住棟 柏葉団地1号棟

事務事業の実績（概要）
 屋根の葺き替え、外壁の劣化補修及び塗装改修工事を実施した。
 【令和4年度】
 ・対象住棟 柏葉団地1号棟

指標等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	屋根、外壁の改修を計画している棟数	棟	-	-	-	1	1
②	本事業より市営住宅柏葉団地の機能の維持が図られた住戸数	戸	-	-	-	20	12
③	本事業における計画棟数（全棟数）	棟	0	0	0	4	4
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	大規模改修を実施した棟数	棟	-	-	-	1	1
成果指標							
成果指標							

課題点等
 老朽化が進む市営住宅について、劣化状況等を踏まえ計画的に改修を行う必要がある。

今後の取組・方向性
 ・市営住宅等長寿命化計画に基づき本事業を実施する。
 【令和5年度実施予定】
 ・柏葉団地2号棟

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	42232001	部・グループ	都市整備部建築住宅グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 市営住宅における民間活力の導入の検討事務

会計種別		開始年度	平成 26 年度
款	項	終了年度	令和 ー 年度
		事業区分	ソフト事業
		大型事業推進プラン	非登載事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給
主要な施策	2	効果的・効率的な管理・運営

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

目的・根拠・対象	
目的	民間活力の導入により、市営住宅の管理（入居者管理・施設維持管理）の充実及び費用の削減、市営住宅入居者へのサービスの向上を図ることを目的とする。
根拠	公営住宅法、登別市営住宅条例、登別市営住宅条例施行規則
対象	市営住宅

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						

事務事業の計画（概要）
 指定管理者制度等の導入について関係団体と協議を行い、導入の可否について検討を行う。

事務事業の実績（概要）
 市内事業者に指定管理者制度等を導入した場合の課題等について聞き取りを行ったほか、公営住宅の管理業務について実績のある市外事業者から同様に情報収集を行った。また、事業費の積算を行い、指定管理者制度導入の実現性について庁内関係部署と協議を行った。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	建築住宅グループにおける市営住宅管理を専門に行う正職員数（住宅担当）	人	2	2	2	2	2
②	建築住宅グループにおける市営住宅管理を専門に行う会計年度職員数	人	3	2	2	2	2
③	情報収集を実施した自治体数	自治体	0	0	0	0	2
④	情報収集を実施した民間事業者等	社	0	0	2	2	3
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	指定管理者導入率	%	0	0	0	0	0
成果指標							
成果指標							

課題点等
 ・委託料の積算方法によっては維持管理経費の削減に効果がない可能性がある。（更新が必要な設備等について、財政状況に応じた先延ばしは困難となる可能性がある。）
 ・市外事業者が指定管理を受託した場合の市内業者（修繕発注等）への影響が懸念される。
 ・当市は市営住宅管理を専門に行う正職員数が2名であり、導入後においてもその削減が困難である。
 ・将来的な市営住宅戸数や施設維持管理計画を示さなければ、指定管理者が将来を見据えた収益を算出することが困難である。

今後の取組・方向性
 市営住宅等長寿命化計画において令和11年度までの市営住宅の目標管理戸数や事業手法等が示されたことから、施設維持管理については関係団体と協議を進めながら、導入の可否の検討に入る。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43112001	部・グループ	都市整備部都市政策グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 道道上登別室蘭線3・4・313東通改良受託事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	2	幹線道路の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全確保を図ることを目的とする。
	根拠	都市計画法、土地収用法
対象	用地補償対象者、当該道路の通行者	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 28 年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和 10 年度
目	3	道路新設改良費	事業区分	ソフト事業
				大型事業推進プラン
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	1,713	1,713	0	0	0	3,376
3職員手当等	199	198	0	0	0	206
4共済費	391	391	0	0	0	0
8旅費	46	0	0	0	0	65
10需用費	627	793	0	0	0	1,203
11役務費	170	120	0	0	0	152
13使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0
16公有財産購入費	70	0	0	0	0	25,000
21補償・補填及び賠償金	50,230	47,133	0	0	0	60,000
合計	53,446	50,348	0	0	0	90,002

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	53,431	50,338	0	0	0	89,984
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	15	10	0	0	0	18

事務事業の計画（概要）
 北海道により進められている道道上登別室蘭線東通の拡幅改良事業のうち、用地補償業務を北海道から委託を受けて実施する。
 令和4年度は、北海道により第2工区の事業認可手続きを行う予定である。

事務事業の実績（概要）
 令和4年度は事業の実施がなかった。
 なお、令和4年10月に北海道により第2工区の事業認可を取得済み。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	用地交渉回数	回	35	10	6	0	2
②	買収土地筆数	筆	20	4	0	0	2
③	土地売買契約	件	15	4	0	0	1
④	物件移転補償契約・借家人補償契約・補償契約	件	15	6	3	0	1
⑤	残地補償契約	件	9	3	0	0	0
⑥	用地取得業務不調件数	件	1	2	1	0	0
⑦	本事業に係る問い合わせ件数	件	5	2	3	0	1
⑧	北海道（胆振総合振興局用地課、室蘭建設管理部別出張所）との打合せ回数	回	39	18	12	6	5
⑨	用地補償研修参加延べ人数	人	3	1	1	1	1
⑩	本事業に直接関わる職員数	人	4	4	3	4	4
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	事業実施件数	件	16	8	3	0	1
成果指標							
成果指標							

課題点等
 契約の締結について、令和3年度に1名折衝不調となり、北海道が継続して折衝していたところ、令和4年7月19日に売買契約を締結したと連絡があり、1工区の用地買収及び物件移転は終了となった。

今後の取組・方向性
 令和5年度より、北海道が施行する道道上登別室蘭線東通改良事業（第2工区）のうち、用地買収及び物件移転等の補償業務を北海道から委託を受けて実施する。
 ・用地買収 一式
 ・物件移転等補償 一式
 【東通改良事業（第2工区）】
 ・道路延長 約725m
 ・道路幅員 車道9.0m、両側に3.5m幅の歩道

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくりを	事務事業コード	43113001	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	---------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 道路台帳整備事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的・根拠・対象	
目的	新規認定した路線等の現況測量及び台帳作成等を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。
根拠	道路法
対象	市道

会計種別		一般会計			
款	8	土木費	開始年度	昭和 55 年度	
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和 一 年度	
目	1	道路橋梁総務費	事業区分	ソフト事業	
				非登載事業	

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	4,422	4,345	4,081	4,081	3,971	4,842
合計	4,422	4,345	4,081	4,081	3,971	4,842

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,422	4,345	4,081	4,081	3,971	4,842

事務事業の計画（概要）
新規認定した路線等の現況測量・台帳作成を委託により実施する。

事務事業の実績（概要）
開発行為に伴う、当該路線等の道路台帳図及び調書の作成及び修正を行った。

活動等の状況		指標等の状況					
①	道路台帳修正延長	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
②	道路台帳修正枚数	m	1,050	350	3,113	197	1,563
③		枚	5	6	15	1	5
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	台帳整備路線数	路線	9	7	2	3	5
成果指標							
成果指標							

課題点等
新規路線や変更が必要な路線が確認された際に、適宜対応が必要である。

今後の取組・方向性
道路改良事業や開発行為による道路帰属などにより新規認定及び変更認定した路線において、遅滞なく道路台帳の変更及び道路台帳図の修正を行っていく。
令和5年度にDX推進室DX推進グループで実施する「インフラ情報デジタル化・地理情報システム導入事業費」において、紙で管理していた道路台帳のデジタル化を進めることにより、効率的な事務処理や市民及び事業者等の利便性の向上を図る。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	改善	改善	改善	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくりを	事務事業コード	43113002	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	---------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	道路用地管理事業
--------	----------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的・根拠・対象	
目的	市道用確定測量を行うことにより市道を適切に管理することを目的とする。
根拠	道路法
対象	市道

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	昭和 55 年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和 一 年度
目	1	道路橋梁総務費	事業区分	ソフト事業
				非登録事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	700	271	700	700	0	1,694
16公有財産購入費	1,000	20	1,000	1,000	0	1,000
合計	1,700	291	1,700	1,700	0	2,694

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,700	291	1,700	1,700	0	2,694

事務事業の計画（概要）
未処理となっている道路用地の測量や、用地買収を行う。

事務事業の実績（概要）
該当する箇所がなかったため、実施していない。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	市道の路線数	路線	1,208	1,208	1,209	1,209	1,209
②	市道の実延長	km	295	295	298	298	298
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	測量実施路線数	路線	3	0	2	0	-
成果指標							
成果指標							

課題点等
・事案が発生した場合、適宜用地測量が必要となる。 ・定期的な業務ではなく突発的な業務対応となるが、毎年予算の確保が必要である。

今後の取組・方向性
市道用地確定測量等を適宜実施し、市道を適切に管理する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
統合	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくりを	事務事業コード	43113004	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	---------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	地籍調査事業（地籍調査管理経費）	
--------	------------------	--

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	地籍調査管理システムを導入することにより、迅速に地籍調査成果の交付を行うことを目的とする。 また、地籍調査成果の修正申出について、調査・検証を行い、修正することにより、より位置精度の高い土地情報を提供することを目的とする。
	根拠	国土調査法、土地基本法、地方税法
対象	地籍調査実施区域	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	昭和 48 年度
項	4	都市計画費	終了年度	令和 - 年度
目	4	地籍調査事業費	事業区分	ソフト事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	300	0	300	300	0	300
13使用料及び賃借料	528	528	528	528	528	528
合計	828	528	828	828	528	828

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	828	528	828	828	528	828

事務事業の計画（概要）	
・	地籍調査成果の交付事務について迅速に対応する。
・	地籍成果の修正申出があった際には、調査・検証を行い、必要に応じ修正業務を行う。

事務事業の実績（概要）	
・	地籍調査管理システムの活用により地籍調査成果の交付事務について迅速な対応を行った。
・	令和4年度については地籍調査成果の修正申出及び修正実績無し。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	境界点交付手数	千円	342	302	352	410	350
②	修正申し出件数	筆	0	0	0	0	-
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	閲覧件数	筆	377	312	380	337	-
成果指標	修正筆数	筆	0	0	0	0	-
成果指標							

課題点等	
・	地籍調査成果の修正申出について事案が確認された際には、速やかな対応が必要となる。
・	定期的な業務ではなく突発的な業務対応となるが、毎年予算の確保が必要となる。

今後の取組・方向性	
・	地籍調査成果の交付事務について迅速に対応するため、今後も引き続き地籍調査管理システムの活用を続ける。
・	地籍調査成果の修正申出があった際には、調査・検証を行い速やかに対応する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 Sustainable Society	事務事業コード	43113005	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	------------------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 市道舗装排水整備事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行うことにより、総合的な道路交通網の整備や歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。
	根拠	道路法
	対象	市道

会計種別		一般会計	
款	8	土木費	開始年度
項	2	道路橋梁費	終了年度
目	3	道路新設改良費	事業区分
			大型事業推進プラン
			年度
			令和 一 年度
			ハード事業
			登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）							
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算	
2給料	362	362	369	369	369	548	
12委託料	9,500	9,497	11,500	11,500	11,041	6,500	
14工事請負費	89,000	87,604	87,000	87,000	86,866	133,500	
16公有財産購入費	500	0	500	798	797	500	
21補償・補填及び賠償金	1,000	0	1,000	77	0	1,000	
合計	100,362	97,463	100,369	99,744	99,073	142,048	

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	90,300	87,700	90,300	89,700	88,800	127,700
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,062	9,763	10,069	10,044	10,273	14,348

事務事業の計画（概要）
 市道の改良、舗装及び排水路工事、並びに工事に係る測量調査及び実施設計を実施する。町内会からの要望等を踏まえ、未改良路線や排水及び舗装の対策が必要な箇所の改良工事等を行う。
 ・工事発注本数 13本
 ・測量調査委託 一式
 ・実施設計委託 一式

事務事業の実績（概要）
 未改良路線や排水及び舗装の不良箇所の改良工事等を実施した。
 ・工事発注本数 13本
 ・測量調査委託 一式
 ・実施設計委託 一式

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	工事発注本数	本	19	15	13	13	16
②	道路改良工事実施延長	m	1,350	654	447	434	610
③	公共事業適正管理推進事業起債の要望及び申請回数	回	-	-	-	-	2
④	道路改良要望箇所数	箇所	11	15	8	13	10
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	舗装・路盤改良工事・排水路工事	m	1,450	1,007	643	699	1,090
成果指標							
成果指標							

課題点等
 整備が必要な箇所は数多くあるが、予算に応じて優先度の高い箇所から実施している。

今後の取組・方向性
 今後も継続的に事業を実施し、歩行者や通行車両の安全確保に努める。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43113007	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	市道維持補修その他経費
--------	-------------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	市道のパトロールや舗装及び排水の修繕等日常的な維持管理を行う。また、これに伴う車両及び機械類の保守等を行い、市道交通の安全確保を目的とする。
	根拠	道路法
対象	市道	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	—年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和—年度
目	2	道路維持費	事業区分	ハード事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
10需用費	80,119	83,168	78,529	92,867	89,154	97,781
11役員費	1,098	1,246	1,668	1,668	1,366	1,689
12委託料	29,550	29,249	29,872	29,872	29,872	33,263
15原材料費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	11,000
26公課費	363	262	125	65	30	363
合計	121,130	123,925	120,194	134,472	130,422	144,096

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	800	901	800	800	540	800
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	120,330	123,024	119,394	133,672	129,882	143,296

事務事業の計画（概要）	市道の補修、排水清掃、草刈り、パトロール等を実施する。また、安全管理に必要な車両や排水ポンプ等の運行管理、光熱水費等の支払いを行う。
-------------	--

事務事業の実績（概要）	市道の補修、排水清掃、草刈り、パトロール等を実施した。 <input type="checkbox"/> 市道パトロール業務 一式 <input type="checkbox"/> 舗装補修業務 一式 <input type="checkbox"/> 市道修繕 一式 <input type="checkbox"/> 排水等清掃 一式 <input type="checkbox"/> 草刈業務等 一式
-------------	--

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	市道実延長	m	295,952	295,901	298,549	298,532	298,539
②	常温合材購入数	袋	1,300	1,610	1,451	1,775	1,600
③	普通作業員労務単価	円	16,900	17,300	17,300	18,000	—
④	舗装延長	m	270,091	270,530	273,178	273,162	273,169
⑤	舗装率	%	91	91	92	92	92
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	道路管理瑕疵による事故発生件数（損害賠償した件数）	件	3	0	4	0	0
成果指標							
成果指標							

課題点等	市道の補修、排水清掃、草刈りについての要望や道路施設の老朽化による補修箇所が増加している中、優先度に応じて実施している。
------	--

今後の取組・方向性	歩行者及び通行車両の安全を確保するため、今後も引き続き適切に維持管理を行う。
-----------	--

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
統合	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくりを	事務事業コード	43113009	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	---------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 来馬演習場周辺排水路整備事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	来馬演習場周辺排水路の改修を行い、大雨災害の防除を目的とする。
	根拠	防衛施設周辺の生活環境の整備に関する法律
対象	対象	市が管理する排水路

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	令和2年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和7年度
目	3	道路新設改良費	事業区分	ハード事業
				登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	1,555	1,555	1,910	1,910	1,910	1,960
8旅費	73	0	73	73	0	73
10需用費	170	166	244	244	244	279
12委託料	2,500	1,760	1,600	0	0	1,529
14工事請負費	40,590	41,206	47,773	47,773	46,552	48,659
16公有財産購入費	1,000	464	500	0	0	500
17備品購入費	112	0	0	0	0	0
合計	46,000	45,151	52,100	50,000	48,706	53,000

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	36,800	45,151	41,680	50,000	48,706	42,400
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	6,900	0	7,800	0	0	7,900
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,300	0	2,620	0	0	2,700

事務事業の計画（概要）
来馬演習場から流出する雨水による越水災害を防ぐため、北海道防衛局補助を活用し、排水能力が低下した既設排水路の改修工事を実施する。 ・用地測量 一式 ・用地買収 一式 ・排水路改修 L=70.1m

事務事業の実績（概要）
排水路改修工事を実施した。 ・用地測量 一式 ・用地買収 一式 ・排水路改修 L=70.1m

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	実施設計本数	本	—	1	0	0	0
②	工事発注本数	本	—	0	1	1	1
③	補助金要望及び申請協議回数	回	—	—	—	—	3
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	排水路整備延長	m	—	0	120	70	80
成果指標							
成果指標							

課題点等
令和2年度策定の全体計画に基づき、既設排水路の改修工事を進める。

今後の取組・方向性
今後も継続的に当該排水路の改修工事を進める。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な都市づくり	事務事業コード	43113010	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	片倉10号線法面整備事業
--------	--------------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	道路法面の浸食が進行していることから、対策工事を実施し、地域の安全を確保することを目的とする。
	根拠	道路法
対象	対象	市道片倉10号線に面した道路法面

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	令和2年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和7年度
目	2	道路維持費	事業区分	ハード事業
				登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	3,536	3,536	3,874	3,874	3,874	3,062
12委託料	7,500	7,337	0	0	0	0
14工事請負費	71,500	0	79,750	25,520	25,520	61,250
16公有財産購入費	700	424	450	450	0	450
21補償・補填及び賠償金	800	146	300	300	0	300
14工事請負費（R3→R4繰越）	0	0	18,282	18,282	17,875	0
合計	84,036	11,443	102,656	48,426	47,269	65,062

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	48,300	4,743	58,652	25,701	25,701	37,200
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	32,100	2,800	38,600	16,500	16,500	25,000
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,636	3,900	5,404	6,225	5,068	2,862

事務事業の計画（概要）	
浸食が進行した道路法面の対策工事を行い、市道の安全性を確保する。	
・用地測量及び立木補償調査 一式	
・法面改修工事 一式	
・用地買収、立木補償 一式	

事務事業の実績（概要）	
測量、調査、用地買収及び用地補償を行った。	
・法面改修工事 一式	

指標等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	実施設計本数	本	-	1	0	0	0
②	工事発注本数	本	-	0	0	2	1
③	交付金要望及び申請協議回数	回	-	-	-	-	3
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	法面整備延長	m	-	0	0	167	114
成果指標							
成果指標							

課題点等	
国の社会資本整備総合交付金を活用して行っている事業であるが、国費の配当率が低く、国費が充当される事業費の範囲内で実施している。	

今後の取組・方向性	
今後も継続的に安全な施設へと改修する。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43113011	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 市道富岸63号線整備事業費

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象 市道富岸63号線は、富岸町1丁目の消防本部新庁舎建設敷地に面しており、開庁後は車両の交通量が増加することから、市道を拡幅し歩道を新設することにより、通学路の安全確保を図ることを目的とする。
	道路法
根拠	市道富岸63号線
対象	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	令和3年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和4年度
目	3	道路新設改良費	事業区分	ハード事業
			大型事業推進プラン	登録事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
12委託料	7,000	6,875	0	0	0	0
14工事請負費	0	0	40,000	40,000	39,620	0
合計	7,000	6,875	40,000	40,000	39,620	0

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	6,300	6,100	36,000	36,000	35,600	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	700	775	4,000	4,000	4,020	0

事務事業の計画（概要）
 通学路の安全確保のため、道路を拡幅し歩道を新設する。
 ・道路改良延長 L=183m

事務事業の実績（概要）
 富岸63号線に係る改良工事を実施した。
 ・道路改良延長 L=183m

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	実施設計本数	本	-	-	1	0	0
②	普通作業員労務単価	円	-	-	17,300	18,000	-
③	設計技師（C）単価	円	-	-	32,800	32,800	-
④	工事発注本数	本	-	-	-	1	0
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	道路改良延長	m	-	-	0	183	-
成果指標							
成果指標							

課題点等
 令和3年度の実施設計に基づき、道路改良工事を実施する。

今後の取組・方向性
 令和4年度に工事を実施したため、事業終了とする。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	終了	終了	終了	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 持続可能な 都市づくり	事務事業コード	43113012	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	----------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	市道石山通り整備事業
--------	------------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善

目的	目的・根拠・対象	JR登別駅周辺における情報発信拠点施設の整備を中心とした登別東地区都市再生整備計画の一環として、また、北海道におけるJR登別駅前広場の整備と合わせ本路線を整備することにより、当該駅を利用する観光客を含めた来訪者及び通行者の安全を確保することを目的とする。
	根拠	道路法、都市再生特別措置法
	対象	市道石山通り

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	令和4年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和5年度
目	3	道路新設改良費	事業区分	ハード事業
				大型事業推進プラン 登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	0	0	0	0	0	2,695
12委託料	0	0	7,000	7,000	6,963	1,000
14工事請負費	0	0	0	0	0	54,000
16公有財産購入費	0	0	0	0	0	2,000
合計	0	0	7,000	7,000	6,963	59,695

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	2,900	3,500	3,481	28,500
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	3,600	3,100	3,100	28,000
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	500	400	382	3,195

事務事業の計画（概要）	
登別東地区都市再生整備計画に箇所付けされている市道石山通りの改築事業を進め、安全安心な道路交通網の確保を図る。	
・現況測量 一式	
・実施設計（道路・標識）一式	

事務事業の実績（概要）	
現況測量及び実施設計（道路・標識）を実施した。	
・現況測量 一式	
・実施設計 一式	

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	実施設計本数	本	-	-	-	1	1
②	普通作業員労務単価	円	-	-	17,300	17,300	-
③	設計技師（C）単価	円	-	-	32,800	32,800	-
④	交付金要望及び申請協議回数	回	-	3	3	3	3
⑤	関係機関協議回数	回	-	-	-	10	10
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	道路整備延長	m	-	-	-	0	165
成果指標							
成果指標							

課題点等	
工事においては、交差点及び起終点の摺り付け、横断歩道の設置について公安委員会との協議が必要となる。また、令和4年3月にオープンした登別市観光交流センターを利用する歩行者への安全には十分に配慮し施工する必要がある。	

今後の取組・方向性	
関係機関の協議はすべて終了し、令和5年度に工事完成予定。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43114002	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 冬道対策事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	4	適正な維持管理

目的	冬期間の市道管理を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。
	道路法
根拠	市道
対象	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	—年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和—年度
目	2	道路維持費	事業区分	ソフト事業
				非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
10需用費	8,388	6,800	8,215	8,095	8,094	8,910
12委託料	99,380	270,221	104,506	215,717	215,717	134,099
13使用料及び賃借料	50	0	50	0	0	50
合計	107,818	277,021	112,771	223,812	223,811	143,059

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	5,466	33,365	5,466	5,466	30,472	5,800
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	102,352	243,656	107,305	218,346	193,339	137,259

事務事業の計画（概要）
 市道の除排雪や凍結防止剤の散布を行うほか、すべり止め用の砂箱やロードヒーティングの補修、凍結防止剤等の購入を行う。
【対象路線】
 車道除雪 1,151路線 除雪延長 L=271.5km
 歩道除雪 103路線 除雪延長 L=62.3km
 凍結防止剤散布 192路線 散布延長 L=60.5km
【除雪実施条件】
 概ね降雪量15cmを基準に路面状況を考慮して出動

事務事業の実績（概要）
 ロードヒーティング等冬道対策施設の補修及び凍結防止剤等の資材の購入を行った。地域と協働で凍結防止剤散布ボランティア事業を行った。
 町内会に対し、除雪に関する注意事項のチラシを配布し注意喚起を行った。
 ○冬道対策施設修繕 一式
 ○凍結防止剤購入 4,400袋
 市道の除排雪及び凍結防止剤の散布業務を実施した。
 ○車道除雪 : 1,151路線 除雪延長 271.5km
 ○歩道除雪 : 103路線 除雪延長 62.3km
 ○凍結防止剤散布 : 192路線 散布延長 60.5km

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	ロードヒーティング箇所数（跨線橋除く）	箇所	12	12	12	12	12
②	砂箱設置箇所数	箇所	127	127	127	129	129
③	凍結防止剤等散布ボランティア支援事業参加町内会数	町内会	38	33	37	38	38
④	町内会への凍結防止剤配布数	袋	217	194	213	229	230
⑤	町内会への砂袋配布数	袋	710	695	801	795	800
⑥	凍結防止剤購入数	袋	3,100	4,040	3,880	4,400	4,200
⑦	焼砂購入数	t	48	40	64	32	50
⑧	除雪委託業者数	社	30	30	34	35	35
⑨	凍結防止剤散布延長	km	60	60	61	61	61
⑩	運転手（特殊）労務単価	円	20,200	20,700	20,900	22,400	—
⑪	運転手（一般）労務単価	円	17,200	17,600	17,600	18,600	—
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	凍結防止剤散布延長	km	60	60	61	61	61
成果指標	車道除雪延長	km	269	269	272	272	272
成果指標	歩道除雪延長	km	62	62	62	62	62

課題点等
 市内全域を限られた除雪機械及び人員で作業しており、降雪時の除雪作業においては、作業終了までに多くの時間を要している。

今後の取組・方向性
 引き続き適切な除雪や凍結防止剤の散布を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全確保に努める。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43114003	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	橋梁維持補修事業
--------	----------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	4	適正な維持管理

目的・根拠・対象	
目的	橋梁の適切な維持管理を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全確保を目的とする。
根拠	道路法
対象	市道に架かる橋梁

会計種別		一般会計	
款	8 土木費	開始年度	— 年度
項	2 道路橋梁費	終了年度	令和 — 年度
目	4 橋梁維持費	事業区分	ハード事業
			非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
10需用費	2,481	2,417	2,388	3,065	2,759	3,288
15原材料費	100	0	100	100	96	100
合計	2,581	2,417	2,488	3,165	2,855	3,388

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,581	2,417	2,488	3,165	2,855	3,388

事務事業の計画（概要）
橋梁の維持管理・補修を実施する。

事務事業の実績（概要）
橋梁の補修を実施した。 ○橋梁補修 一式 ・小平岸橋外 7橋

指標等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	普通作業員労務単価	円	16,900	17,300	17,300	18,000	—
②	市内の橋梁数	橋	106	106	107	107	107
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	既設橋梁の修繕数	橋	6	7	3	8	—
成果指標							
成果指標							

課題点等
橋梁の老朽化が進んでおり、損傷箇所での適切な修繕が必要である。

今後の取組・方向性
橋梁の維持管理を適切に行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43114004	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	除雪機械更新事業
--------	----------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	4	適正な維持管理

目的・根拠・対象	
目的	除雪機械を更新し、市道の除雪作業の円滑化を図ることにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。
根拠	道路法
対象	市道

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 23 年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和 - 年度
目	2	道路維持費	事業区分	ハード事業
				登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
11 役務費	0	0	340	340	340	0
17 備品購入費	0	0	38,878	37,928	37,928	0
合計	0	0	39,218	38,268	38,268	0

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	25,200	21,420	21,420	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	9,500	9,600	9,600	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	4,518	7,248	7,248	0

事務事業の計画（概要）
計画に基づき、除雪機械を更新する。

事務事業の実績（概要）
ロータリー除雪車1台の更新を行った。

活動等の状況		指標等の状況					
①	除雪機械保有台数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
②	最大積雪深（登別気象データ）	cm	101	67	120	61	-
③	市内一斉除雪出動回数	回	3	3	4	4	-
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	車道除雪延長	km	269	269	272	272	272
成果指標							
成果指標							

課題点等
除雪機械の老朽化や、近年の社会情勢による価格の値上り、納期の遅れが生じているため、計画的な更新が必要である。

今後の取組・方向性
今後も引き続き除雪機械の計画的な更新を進める。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43114005	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名	橋梁長寿命化事業
--------	----------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	4	適正な維持管理

目的	目的・根拠・対象	計画的に橋梁の修繕を行い、安全性の確保及びライフサイクルコストの削減を図ることを目的とする。
	根拠	道路法
対象	対象	市が管理する橋梁

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 26 年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和 一 年度
目	4	橋梁維持費	事業区分	ハード事業
				大型事業推進プラン 登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	293	293	1,107	1,107	1,107	1,118
10需用費	132	131	232	232	232	230
12委託料	36,500	34,563	18,000	14,520	14,520	18,000
14工事請負費	8,500	7,755	27,000	31,952	31,603	27,000
合計	45,425	42,742	46,339	47,811	47,462	46,348

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	27,000	25,388	27,000	27,558	27,558	25,200
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	16,500	15,500	17,400	17,700	17,700	13,000
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,925	1,854	1,939	2,553	2,204	8,148

事務事業の計画（概要）	
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修設計及び工事等を実施する。	
・橋梁点検 15橋	
・補修工事 3橋（第三上覧別橋 小平岸橋 五色橋）	
・補修設計 1橋（小平岸橋）	

事務事業の実績（概要）	
橋梁の点検、補修工事及び補修設計を実施した。	
・橋梁点検 15橋	
・補修工事 3橋（第三上覧別橋 小平岸橋 五色橋）	
・補修設計 1橋（小平岸橋）	

指標等の状況		指標等の状況					
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	橋梁の法定点検数	橋	5	46	42	15	13
②	橋梁の実施設計数	橋	2	0	1	1	1
③	橋梁の補修工事数	橋	2	2	1	3	3
④	補助金要望及び申請協議回数	回	3	3	3	3	3
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	既設橋梁の修繕数	橋	6	7	7	8	9
成果指標							
成果指標							

課題点等	
国庫補助を活用して行っている事業であるが、配当率が低く、国費が充当される事業費の範囲内で実施している	

今後の取組・方向性	
・国庫補助を活用し、補修工事を実施することで登別市内の橋梁の健全性を確保する。	
・現行の【橋梁長寿命化修繕計画】が10年の期間を見据えた計画であり、令和5年度に当該計画の見直しを図る。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43114006	部・グループ	都市整備部土木・公園グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	----------------

事業・経費名 道路付属施設整備事業

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	4	適正な維持管理

目的	目的・根拠・対象	道路本体及び道路の付属施設であるトンネルや街路灯、擁壁、法面などを点検し、補修することで歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。
	道路法	
根拠	道路法	
対象	市が管理する道路付属物	

会計種別		一般会計		
款	8	土木費	開始年度	平成 27 年度
項	2	道路橋梁費	終了年度	令和 一 年度
目	2	道路維持費	事業区分	ハード事業
			大型事業推進プラン	登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
2給料	1,935	1,935	1,853	1,853	1,853	1,051
8旅費	46	12	62	62	62	62
10需用費	499	381	324	324	324	326
12委託料	1,000	0	6,000	3,201	3,201	21,000
13使用料及び賃借料	91	90	91	91	90	91
14工事請負費	85,000	25,020	80,600	37,711	37,710	57,600
18負担金・補助及び交付金	1,100	1,032	1,100	1,100	1,030	1,100
合計	89,671	28,470	90,030	44,342	44,270	81,230

財源内訳	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	36,600	1,200	36,960	9,323	9,323	41,160
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	47,400	21,900	47,400	29,100	29,100	35,600
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,671	5,370	5,670	5,919	5,847	4,470

事務事業の計画（概要）

点検・診断・修繕を行い、市道の安全性を確保する。

- 登別温泉中央通り擁壁補修工事 一式
- フンベ山トンネル照明補修工事 一式
- ロードヒーティング設備改修工事 一式
- 道路照明施設改修工事 一式
- 駕別学田路線改修工事 一式
- 測量調査設計委託 一式

事務事業の実績（概要）

道路付属施設の補修工事を実施した。

- フンベ山トンネル照明補修工事 一式
- ロードヒーティング設備改修工事 一式
- 道路照明施設改修工事 一式
- 駕別学田路線改修工事 一式
- 測量調査設計委託 一式

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	工事発注本数	箇所	2	4	2	7	3
②	補助・交付金要望及び申請協議回数	回	3	3	3	3	3
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	道路付属物修繕完了箇所数	箇所	7	10	11	15	17
成果指標							
成果指標							

課題点等

当該事業のうち、社会資本整備総合交付金を活用して行っている事業については、国費配当率が低いため、国費が充当される事業費の範囲内で実施している。

今後の取組・方向性

定期的に点検および調査を実施し、優先度の高い施設から補修を進める。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43121001	部・グループ	市民生活部市民協働グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	地方生活バス路線維持費補助金
--------	----------------

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	2	交通手段の確保
主要な施策	1	人にやさしい交通手段の確保

目的	目的・根拠・対象 市民の生活に必要なバス路線を維持することにより、地域生活における交通手段の確保を目的とする。
	根拠 登別市生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱
対象	乗合バス事業者

会計種別		一般会計		
款	3 民生費	開始年度	平成 13 年度	
項	1 社会福祉費	終了年度	令和 - 年度	
目	1 社会福祉総務費	事業区分	ソフト事業	
			大型事業推進プラン	非登載事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
18負担金・補助及び交付金	6,108	7,770	7,820	6,280	6,280	8,414
合計	6,108	7,770	7,820	6,280	6,280	8,414

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,108	7,770	7,820	6,280	6,280	8,414

事務事業の計画（概要）	
国及び北海道と役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して、生活交通路線運行に係る経費を対象に市単独補助金を交付する。	
・補助対象路線数 市生活交通路線7路線を予定	
・バス利用者促進策の検討	
・乗合バス事業者との連携強化	

事務事業の実績（概要）	
市内路線及び複数市町村路線のうちの赤字路線について、「登別市生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱」に基づき算出された金額を補助金として交付した。	
【補助対象期間等】	令和3年10月1日から令和4年9月30日までの運行実績に基づく。
【補助対象運行系統数】	市内路線4系統（ダイヤ改正や利用者の回復があり3路線の減少となった）

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	補助金対象路線における補助額（東町ターミナル～若山営業所）	千円	312	475	501	293	327
②	補助金対象路線における補助額（登別温泉～資料館前）	千円	1,104	1,311	1,808	1,476	1,337
③	補助金対象路線における補助額（登別温泉～カルルス）	千円	3,988	3,779	4,168	4,199	4,355
④	補助金対象路線における補助額（東町ターミナル～鷺別経由～室蘭ろう学校前）	千円	30	22	5	0	0
⑤	補助金対象路線における補助額（中島入口～資料館前）	千円	0	575	440	0	358
⑥	補助金対象路線における補助額（登別温泉～登別駅前）	千円	0	93	533	0	0
⑦	補助金対象路線における補助額（室蘭駅前広場～東町ターミナル～資料館前）	千円	-	-	231	312	489
⑧	補助金対象路線における補助額（東町ターミナル～幌別駅西口）	千円	-	-	84	0	0
⑨	補助金対象路線における補助額（室蘭駅前広場～中島入口・工大・鷺別経由～室蘭駅前広場）	千円	-	-	-	-	110
⑩	補助金対象路線における補助額（広域センタービル～幌別本町～登別温泉）	千円	-	-	-	-	1,438
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	補助対象路線数（「対象なし=0」が望ましい）	路線	4	6	8	4	7
成果指標							
成果指標							

課題点等	
・これまで補助対象路線の減便により補助額は減少傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し補助額は増加傾向にあったが、令和4年度はダイヤ改正及び利用者の回復により補助対象路線、補助額ともに減少した。	
・バスを積極的に利用してもらうための周知方法等を検討する必要がある。	

今後の取組・方向性	
・生活バス路線の維持が困難になっている路線に対して、引き続き補助を実施する。	
・公共交通の利用促進のための周知を継続するとともに、効果的な周知方法について検討する。	
・補助対象運行系統となっている路線の今後の方向性について、最適な方法を検討すべく、バス運行事業者をはじめ、地域住民及び庁内関係機関等と連携し検討を行っていく。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
改善	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43121004	部・グループ	市民生活部市民協働グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名 地域公共交通等検討会議経費

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	2	交通手段の確保
主要な施策	1	人ややさしい交通手段の確保

目的	<p>目的・根拠・対象</p> <p>地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定及び道路運送法の規定に基づく協議会として、地域公共交通の活性化等のために必要な事項を協議することを目的とする。</p>
根拠	<p>地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、登別市地域公共交通活性化協議会設置要綱</p>
対象	<p>市民、公共交通機関利用者、登別市地域公共交通活性化協議会委員</p>

会計種別		一般会計				
款	3	民生費	開始年度	令和	元	年度
項	1	社会福祉費	終了年度	令和	一	年度
目	1	社会福祉総費	事業区分	ソフト	事業	
			大型事業推進プラン	非	登載	事業

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
7報償費	198	22	132	132	50	0
8旅費	33	2	10	10	3	0
合計	231	24	142	142	53	0

財源内訳						
	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	231	24	142	142	53	0

事務事業の計画（概要）

- 登別市地域公共交通活性化協議会の開催を通して、公共交通に関する課題の解決に向けた協議を行い、将来を見据えた公共交通のあり方を検討する。
- 持続可能な公共交通のあり方を示す計画の策定に向けて協議する。

【委員数】17名
【開催予定回数】4回

事務事業の実績（概要）

協議会を2回開催し、グリーンスローモビリティ導入や燃料価格高騰対策等について協議した。

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	協議会委員数	人	17	17	17	17	—
②	協議会開催回数	回	1	2	3	2	—
③	協議会延べ出席者数	人	16	24	45	24	—
④	生活交通路線維持対策事業補助対象路線数	路線	4	6	8	4	—
⑤	生活交通路線維持対策事業補助金交付額	千円	5,434	6,255	7,770	6,280	—
⑥	補助金対象路線における補助額（東町ターミナル～若山営業所）	千円	312	475	501	293	—
⑦	補助金対象路線における補助額（登別温泉～資料館前）	千円	1,104	1,311	1,808	1,476	—
⑧	補助金対象路線における補助額（登別温泉～カルルス）	千円	3,988	3,779	4,168	4,199	—
⑨	補助金対象路線における補助額（東町ターミナル～鷺別経由～室蘭ろう学校前）	千円	30	22	5	0	—
⑩	補助金対象路線における補助額（中島入口～資料館前）	千円	0	575	440	0	—
⑪	補助金対象路線における補助額（登別温泉～登別駅前）	千円	—	93	533	0	—
⑫	補助金対象路線における補助額（室蘭駅前広場～若山営業所）	千円	—	—	0	0	—
⑬	補助金対象路線における補助額（室蘭駅前広場～資料館前）	千円	—	—	231	312	—
⑭	補助金対象路線における補助額（東町ターミナル～幌別駅西口）	千円	—	—	84	0	—
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	地域公共交通の関する計画の策定（策定：1 未策定：2）	—	2	2	1	1	—
成果指標							
成果指標							

課題点等

- 人口減少・高齢化における効率的で効果的な公共交通の支援
- 公共交通利用者の確保
- 多様な輸送手段を活用した移動支援
- 広域連携による生活交通の確保・維持と観光需要への対応
- 公共交通空白地域への対応

今後の取組・方向性

策定した「登別市地域公共交通計画」の基本方針を踏まえた目標の実現に向け、公共交通空白地域における実証実験等の事務を進める。
令和5年度から地域公共交通関係経費として事業を実施する。

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
継続	継続	継続	継続	

令和5年度（令和4年度分）事務事業評価シート

SDGs 主要目標	11 住み続けられるまちづくり	事務事業コード	43121008	部・グループ	市民生活部市民協働グループ
--------------	--------------------	---------	----------	--------	---------------

事業・経費名	公共交通事業者燃料価格高騰対策事業補助金		
--------	----------------------	--	--

区分	No.	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
基本的な方向	2	交通手段の確保
主要な施策	1	人にやさしい交通手段の確保

目的	目的・根拠・対象 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格・物価高騰に直面している市内の路線バス事業者及びタクシー事業者を支援することを目的とする。
	根拠 登別市公共交通事業者燃料価格高騰対策事業補助金交付実施要綱、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱
対象	道路輸送法第3条の一般乗合旅客自動車輸送事業を営む者又は一般乗用旅客自動車輸送事業を営む者

会計種別		一般会計		
款	3 民生費	開始年度	令和4年度	
項	1 社会福祉費	終了年度	令和4年度	
目	1 社会福祉総務費	事業区分	ソフト事業	
			非登載事業	

予算・決算の内訳（単位：千円）						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
18負担金・補助及び交付金	0	0	0	6,255	6,179	0
合計	0	0	0	6,255	6,179	0

財源内訳						
科目（節）	R3当初予算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算	R5当初予算
国庫支出金	0	0	0	6,255	6,179	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0

事務事業の計画（概要）	
市内に本社又は事業所を置く路線バス事業者及びタクシー事業者に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰分）を活用し、補助金を交付する。	
【補助対象事業者】	・道南バス株式会社（若山営業所） ・室蘭ハイヤー株式会社（登別温泉営業所） ・登別ハイヤー株式会社
【補助額】	次に掲げる金額の合計額とする。 ・事業所額 一律 500千円 ・配置車両台数額 バス 1台につき 76千円 タクシー 1台につき 31千円

事務事業の実績（概要）	
路線バス事業者及びタクシー事業者に対し、配置車両台数等に応じて、補助金を支給した。	
【補助実施額】	・道南バス株式会社 配置車両台数 53台 補助額 4,528千円 ・室蘭ハイヤー株式会社 配置車両台数 10台 補助額 810千円 ・登別ハイヤー株式会社 配置車両台数 11台 補助額 841千円

指標等の状況							
活動等の状況		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
①	市内に本社又は営業所を置く一般乗合旅客自動車輸送事業を営む者	事業所	—	—	—	1	—
②	市内に本社又は営業所を置く一般乗用旅客自動車輸送事業を営む者	事業所	—	—	—	2	—
③	市内に本社又は営業所を置く一般乗合旅客自動車輸送事業の配置車両台数	台	—	—	—	53	—
④	市内に本社又は営業所を置く一般乗用旅客自動車輸送事業の配置車両台数	台	—	—	—	21	—
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
成果指標	撤退・廃業した公共交通事業者数	事業所	—	—	—	0	—
成果指標							
成果指標							

課題点等	
一定の支援をすることができたものの、全国的な原油価格・物価高騰による影響が出てきている。	

今後の取組・方向性	
新型コロナウイルス感染症や世界的な社会情勢等の影響による原油価格・物価高騰に直面している公共交通事業者に対し、迅速な支援を実施することができたことから本事業は令和4年度をもって終了する。	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議及び総合
	終了	終了	終了	